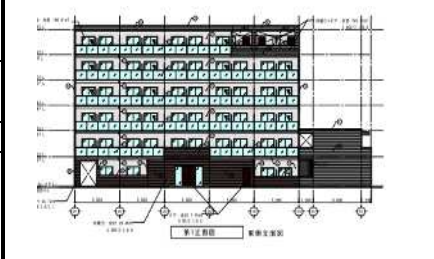


# CASBEE® - 建築(新築)

## 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ドミー坂戸2 新築工事	階数	地上6F
建設地	埼玉県坂戸市中富町1050番3、1050番4	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域/商業地域、防火指定なし、法22条、23条地	平均居住人員	110 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,736 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年2月 予定	評価の実施日	2019年11月25日
敷地面積	1,876 m <sup>2</sup>	作成者	野村満
建築面積	810 m <sup>2</sup>	確認日	2019年11月30日
延床面積	2,593 m <sup>2</sup>	確認者	野村満



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.4** ★☆☆☆☆

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 1.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 1.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.5

**LR のスコア = 2.9**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.0

3 設計上の配慮事項		
総合 特になし		その他 特になし
Q1 室内環境 特になし	Q2 サービス性能 特になし	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー 特になし	LR2 資源・マテリアル 特になし	LR3 敷地外環境 特になし

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**(仮称)ドリーミー坂戸2 新築工事**

欄に数値またはコメントを記入

使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版  
 評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
<b>0 建築物の環境品質</b>									<b>1.9</b>
<b>Q1 室内環境</b>					<b>0.40</b>		<b>-</b>		<b>1.9</b>
<b>1 音環境</b>				<b>1.0</b>	0.15	<b>1.4</b>	1.00		<b>1.2</b>
1.1 室内騒音レベル				<b>1.0</b>	0.50	<b>1.0</b>	0.50		
1.2 遮音				<b>1.0</b>	0.50	<b>1.8</b>	0.50		
1 開口部遮音性能				<b>1.0</b>	1.00	<b>1.0</b>	0.30		
2 界壁遮音性能					-	<b>3.0</b>	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	<b>1.0</b>	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	<b>2.0</b>	0.20		
1.3 吸音					-		-		
<b>2 温熱環境</b>				<b>1.4</b>	0.35	<b>1.6</b>	1.00		<b>1.6</b>
2.1 室温制御				<b>1.3</b>	0.50	<b>1.7</b>	0.50		
1 室温				<b>1.0</b>	0.63	<b>1.0</b>	0.63		
2 外皮性能				<b>2.0</b>	0.38	<b>3.0</b>	0.38		
3 ゾーン別制御性					-		-		
2.2 湿度制御				<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20		
2.3 空調方式				<b>2.0</b>	0.30	<b>2.0</b>	0.30		
<b>3 光・視環境</b>				<b>1.8</b>	0.25	<b>2.0</b>	1.00		<b>1.9</b>
3.1 昼光利用				<b>1.8</b>	0.30	<b>1.4</b>	0.30		
1 昼光率				<b>1.0</b>	0.60	<b>1.0</b>	0.50		
2 方位別開口					-	<b>1.0</b>	0.30		
3 昼光利用設備				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.20		
3.2 グレア対策				<b>2.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30		
1 昼光制御				<b>2.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	1.00		
3.3 照度				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15		
3.4 照明制御				<b>1.0</b>	0.25	<b>1.0</b>	0.25		
<b>4 空気質環境</b>				<b>2.6</b>	0.25	<b>3.0</b>	1.00		<b>2.8</b>
4.1 発生源対策				<b>3.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	0.63		
1 化学汚染物質				<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	1.00		
4.2 換気				<b>2.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.38		
1 換気量				<b>1.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33		
2 自然換気性能					-	<b>3.0</b>	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33		
4.3 運用管理					-		-		
1 CO <sub>2</sub> の監視					-		-		
2 喫煙の制御					-		-		
<b>Q2 サービス性能</b>					<b>0.30</b>				<b>2.2</b>
<b>1 機能性</b>				<b>2.2</b>	0.40	<b>1.4</b>	1.00		<b>1.6</b>
1.1 機能性・使いやすさ				<b>3.0</b>	0.40	<b>1.0</b>	0.60		
1 広さ・収納性					-		-		
2 高度情報通信設備対応					-	<b>1.0</b>	1.00		
3 バリアフリー計画				<b>3.0</b>	1.00		-		
1.2 心理性・快適性				<b>1.0</b>	0.30	<b>2.0</b>	0.40		
1 広さ感・景観					-	<b>3.0</b>	0.50		
2 リフレッシュスペース					-		-		
3 内装計画				<b>1.0</b>	1.00	<b>1.0</b>	0.50		
1.3 維持管理				<b>2.5</b>	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計				<b>2.0</b>	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保				<b>3.0</b>	0.50		-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>2.5</b>	0.30				<b>2.5</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振				<b>3.0</b>	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				<b>3.0</b>	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				<b>3.0</b>	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>2.7</b>	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				<b>3.0</b>	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				<b>2.0</b>	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				<b>2.0</b>	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.20		-		
2.4 信頼性				<b>1.4</b>	0.20		-		
1 空調・換気設備				<b>1.0</b>	0.20		-		
2 給排水・衛生設備				<b>1.0</b>	0.20		-		
3 電気設備				<b>1.0</b>	0.20		-		
4 機械・配管支持方法				<b>3.0</b>	0.20		-		
5 通信・情報設備				<b>1.0</b>	0.20		-		

<b>3 対応性・更新性</b>		<b>3.0</b>	0.30	<b>2.6</b>	1.00	<b>2.7</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>						
1	階高のゆとり	-	-	<b>3.0</b>	0.60	
2	空間の形状・自由さ	-	-	<b>1.0</b>	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>				<b>3.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>		<b>3.0</b>	1.00			
1	空調配管の更新性	3.0	0.20			
2	給排水管の更新性	3.0	0.20			
3	電気配線の更新性	3.0	0.10			
4	通信配線の更新性	3.0	0.10			
5	設備機器の更新性	3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20			
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			<b>0.30</b>			<b>1.5</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>		<b>1.0</b>	0.30			<b>1.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		<b>2.0</b>	0.40			<b>2.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>		<b>1.5</b>	0.30			<b>1.5</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		<b>2.0</b>	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上		<b>1.0</b>	0.50			
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>						<b>2.9</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			<b>0.40</b>			<b>3.9</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		<b>3.0</b>	0.20			<b>3.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>		<b>2.0</b>	0.10			<b>2.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>		[BEI][BEIm] = 0.83	<b>5.0</b>	0.50		<b>5.0</b>
<b>4 効率的運用</b>		<b>3.0</b>	0.20			<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価						
4.1	モニタリング					
4.2	運用管理体制	<b>3.0</b>	1.00			
集合住宅の評価						
4.1	モニタリング	3.0	0.50			
4.2	運用管理体制	3.0	0.50			
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			<b>0.30</b>			<b>2.4</b>
<b>1 水資源保護</b>		<b>2.2</b>	0.20			<b>2.2</b>
1.1 節水		<b>1.0</b>	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		<b>3.0</b>	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無	3.0	1.00			
2	雑排水等利用システム導入の有無	-	-			
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>		<b>2.4</b>	0.60			<b>2.4</b>
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.11			
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.22			
2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.22			
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>		<b>2.6</b>	0.20			<b>2.6</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用		<b>3.0</b>	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避		<b>2.5</b>	0.70			
1	消火剤	-	-			
2	発泡剤(断熱材等)	2.0	0.50			
3	冷媒	3.0	0.50			
<b>LR3 敷地外環境</b>			<b>0.30</b>			<b>2.0</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		<b>2.0</b>	0.33			<b>2.0</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>		<b>1.5</b>	0.33			<b>1.5</b>
2.1 大気汚染防止		<b>1.0</b>	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善		<b>1.0</b>	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制		<b>3.0</b>	0.25			
1	雨水排水水負荷低減	3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25			
3	交通負荷抑制	3.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.25			
<b>3 周辺環境への配慮</b>		<b>2.7</b>	0.33			<b>2.7</b>
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		<b>3.0</b>	0.40			
1	騒音	3.0	0.50			
2	振動	-	-			
3	悪臭	3.0	0.50			
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		<b>3.0</b>	0.40			
1	風害の抑制	<b>3.0</b>	0.70			
2	砂塵の抑制					
3	日照阻害の抑制	3.0	0.30			
3.3 光害の抑制		<b>1.6</b>	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	1.0	0.70			
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30			

# CASBEE埼玉県 重点項目シート

使用評価ソフトバージョン **CASBEE埼玉県2016年版**

1 建物概要			
建物名称	<b>(仮称)ドーマー坂戸2 新築工事</b>	BEE	<b>0.4</b> BEEランク

2 重点項目の評価			
ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア	
<b>2.0</b>	+	<b>1.0</b>	= <b>3.0</b> 
重点項目の各スコアの合計点			
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 

3 重点項目についての環境配慮概要			
<b>(1) ライフサイクルCO2の削減</b>		スコア平均	<b>2.0</b>
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	<b>2.0</b>
< 配慮した内容を記述 > 特になし			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	<b>1.0</b>
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	<b>1.0</b>
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	<b>1.0</b>
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	<b>1.0</b>
< 配慮した内容を記述 > 特になし			

 :入力欄